

2016年2月期 決算説明会資料

2016年4月21日

PAL GROUP

株式会社パル 証券コード:2726

SMILE
IS
POWER.

社員と株主みんなの幸せのための経営



SMILE
IS
POWER.

PAL GROUP

目次

財務報告	2
-------------------	---

2016年2月期 決算概況	3
---------------------	---

2017年2月期 業績見通し	15
----------------------	----

経営ビジョン	16
---------------------	----

トピックス	20
--------------------	----



SMILE
IS
POWER.

PAL GROUP

財務報告

2016年2月期 決算概況
2017年2月期 業績見通し



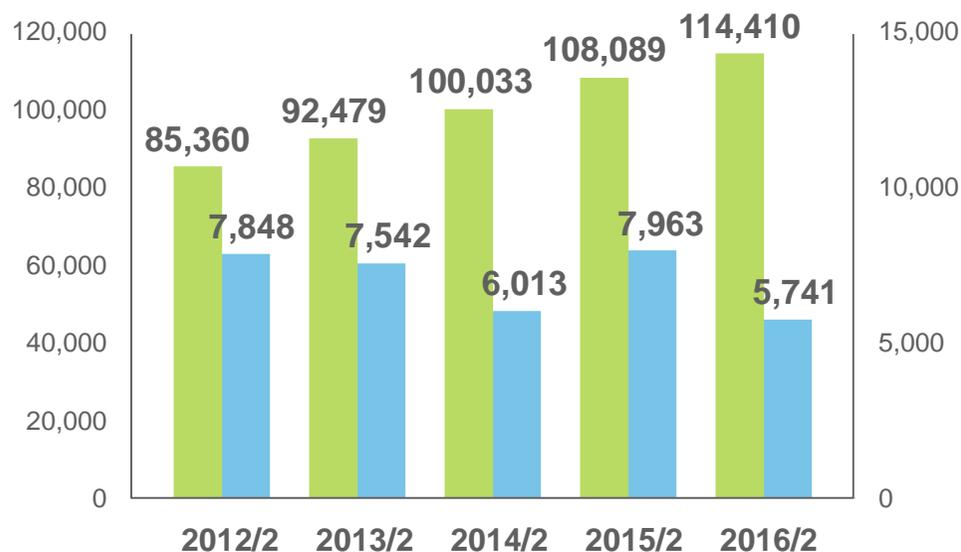
前期を振り返って

- 売上高：過去最高の新規出店により、連結、単体とも増収。
- 経常利益：連結、単体ともに、近年で最も厳しい結果となる。

連結

■ 売上高 ■ 経常利益

単位：百万円



単体

■ 売上高 ■ 経常利益

単位：百万円



2016年2月期 連結損益状況

PAL GROUP

単位:百万円

	2015年2月期	2016年2月期			
		公表値	実績	前年比	公表値比
売上高	108,089	117,510	114,410	5.8%	△2.6%
売上総利益	60,944	66,195	62,852	3.1%	△5.0%
(売上比)	56.4%	56.3%	54.9%	—	—
営業利益	8,066	8,080	5,828	△27.7%	△27.9%
(売上比)	7.5%	6.9%	5.1%	—	—
経常利益	7,963	7,860	5,741	△27.9%	△27.0%
(売上比)	7.4%	6.7%	5.0%	—	—
当期純利益	4,092	4,390	3,288	△19.6%	△25.1%
(売上比)	3.8%	3.7%	2.9%	—	—

- 国内の消費環境は依然厳しい状況のままであり、アパレル業界に低価格化の要請が大きくなった1年であった。また、昨年比20円近い急激な円安の影響や、暖冬などの気候要因も災いし、粗利益率を1.5ポイント低下させる要因となった。

2016年2月期 単体損益状況

PAL GROUP

単位:百万円

	2015年2月期	2016年2月期			
		公表値	実績	前年比	公表値比
売上高	90,181	97,580	95,315	5.7%	△2.3%
売上総利益	51,239	55,574	53,084	3.6%	△4.5%
(売上比)	56.8%	57.0%	55.7%	—	—
営業利益	7,839	8,070	6,137	△21.7%	△24.0%
(売上比)	8.7%	8.3%	6.4%	—	—
経常利益	7,751	7,870	6,077	△21.6%	△22.8%
(売上比)	8.6%	8.1%	6.4%	—	—
当期純利益	4,145	4,250	3,342	△19.4%	△21.4%
(売上比)	4.6%	4.4%	3.5%	—	—

- MD大改革による4W発注体制への移行はこの期で達成できたが、一方で、生産プラットフォームの再構築のズレや、企画面でのプレッシャーなど、改革途上でのひずみも見られたことで、本来コストダウンに結びつくものが、今期、コストアップとなる状況を引き起こし、粗利益を、1.1ポイント低下させる要因にもなった。

単位:百万円

	2015年1月期 実績	2016年1月期 実績	前年比
売上高	9,232	9,666	4.7%
営業利益	91	252	276.9%
経常利益	92	267	290.2%
当期純利益	△20	232	—

- 平成24年より、『パル流』経営の一層の浸透を目指して大改革を断行し、感性の発信出来るブランドへ生まれ変わった結果、売上げ、利益ともに確実な回復を果たすことが出来た。
- (株)パルによる完全子会社化が昨年6月1日で効力発生し、今期、特別利益を507百万円(負ののれん)計上済み。
- (株)ナイスクラブは、資本金及び資本金等を1億円に減少し、税負担の軽減も、今期から図れるよう、対応しています。

セグメント別販売実績及びEC売上高の状況

PAL GROUP

単位:百万円

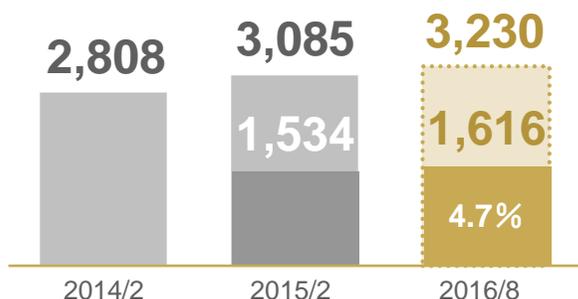
		2015年2月期	2016年2月期	前年度比
衣料	売上高	83,454	86,197	3.3%
	構成比	77.2%	75.3%	
	営業利益	6,777	4,404	
	営業利益率	8.1%	5.1%	
雑貨	売上高	24,503	28,073	14.6%
	構成比	22.7%	24.5%	
	営業利益	1,253	1,386	
	営業利益率	5.1%	4.9%	
その他	売上高	133	139	

		2015年2月期	2016年2月期	前年度比
EC売上高	ZOZO TOWN	2,216	2,476	11.7%
	自社PALCLOSET	1,165	1,161	横這い
	その他	1,612	1,868	15.9%
	合計	4,993	5,505	10.3%
	対衣料売上高比率	6.0%	6.4%	

- EC売上げは、スマホからのアクセス増加で、10.3%増加した。

売上高

単位:百万円



BEARDSLEY

パリのアトリエという空間で、
Raffine(上品)、eternite(永遠)。。。
などの15のキーワードをベースに、
大人の遊び心を誘うアイテムを展開し、
デイリーでありながらスノッブさを加えて
女性の柔らかさと凛とした雰囲気を提案

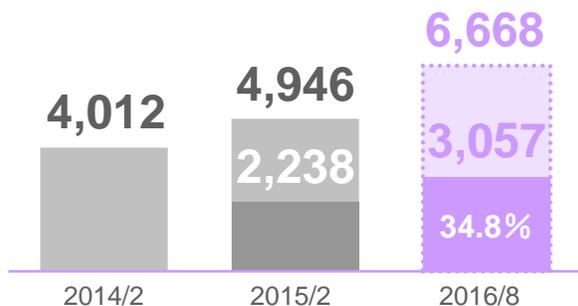
ビアズリー

店舗数 16店舗



売上高

単位:百万円



CIAOPANIC TYPY™

自然体のライフスタイルを大切にしたいファミリーへ
少しこだわりとリラックス感を持ったスタイルを提案
素材と着心地にこだわったオリジナルラインに加え
高感度なカジュアルアイテムを国内外よりセレクト
大人と同じテイストでのキッズウェアもラインアップ。

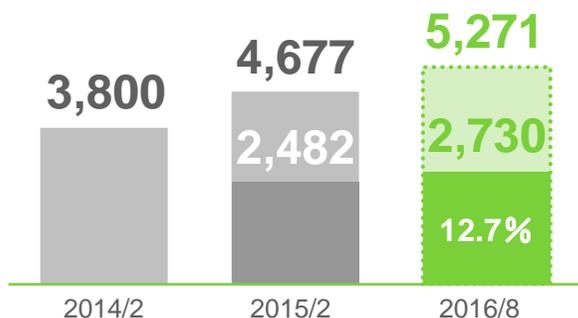
チャオパニックティピー

店舗数 49店舗



売上高

単位:百万円



Discoat

Discoatのアイテムを身にまとい、
ライフスタイルに幸せな変化を感じて欲しい。
オシャレな女の子のライフスタイルに、
ヨーロッパアンカジュアルを提案いたします

Discoat petit及び、Discoat Parisienを合算

ディスコート

店舗数 55店舗



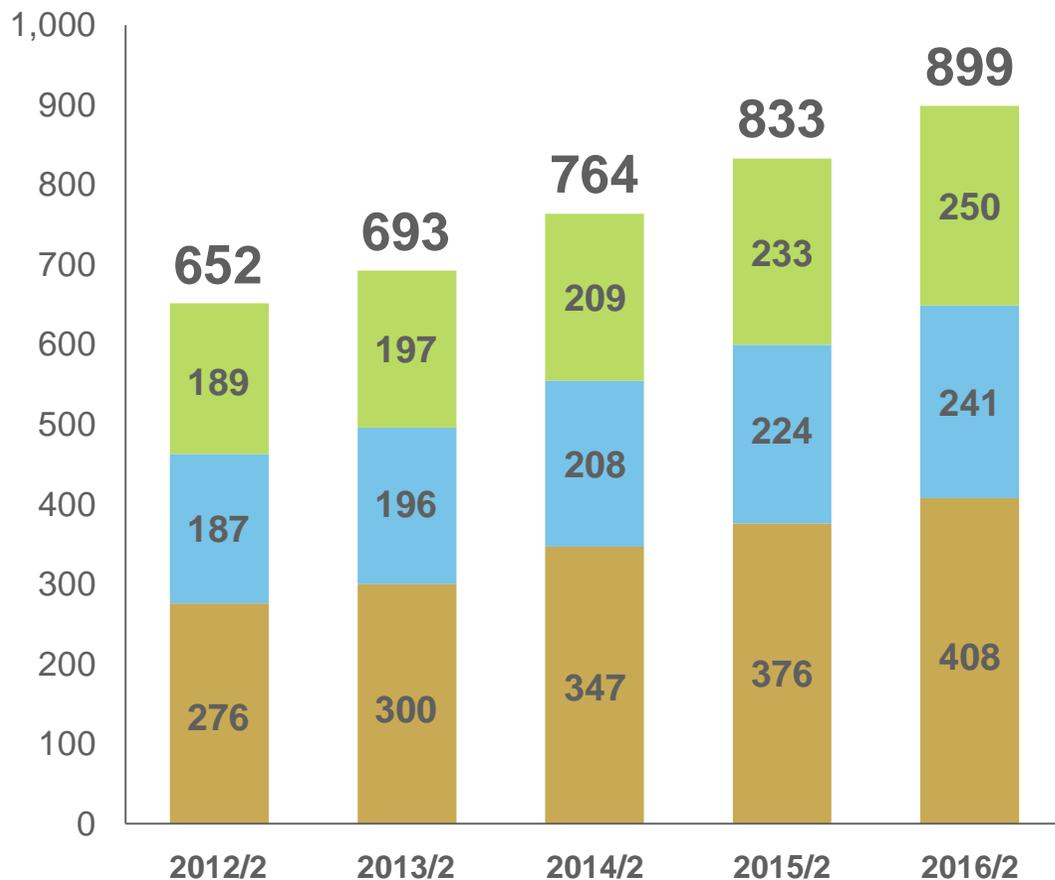
単位:百万円

	2015年2月期	2016年2月期	前年度比
単体	43,400	46,947	8.2%
連結	52,878	57,024	7.8%
販管比率(連結ベース)	48.9%	49.8%	0.9%
人件費率	18.3%	18.6%	0.3%
賃料費率	16.8%	16.9%	0.1%
広告宣伝費率	0.9%	0.9%	横這い

- CPCCMなど新業態の立ち上げ費用や、ベースアップの実施による人件費の上昇が、特に単体での販管費の上昇につながった。

期末店舗数899店舗 (前期比+66店)

■ その他地方
■ 関西圏
■ 関東圏



● 出店状況

過去最高の新規出店127店に対し、退店61店の前期比66店となった。

● 各ブランドの出店状況

衣料事業全体で、82店舗出店。ブランド別では、チャオパニックTYPYで11店、ディスコートで7店、ジェネラルで4店などが、出店戦略を展開した。

一方、雑貨事業全体では、45店舗出店。中でも、3COINSが34店と、引き続き非常に強いニーズがある。

特別損益

単位:百万円

	2015年2月期	2016年2月期
関係会社株式売却益	—	—
固定資産売却益	15	—
負ののれん発生益	—	552
その他	—	—
特別利益合計	15	552
固定資産除却損	197	230
リース契約解約損	6	18
貸倒引当金繰入額	—	—
減損損失	350	561
関係会社株式評価損	—	—
投資有価証券評価損	100	—
災害義捐金等	—	—
災害による損失	—	—
資産除去債務会計基準に伴う影響額	—	—
その他	8	7
特別損失合計	664	816

連結貸借対照表

PAL GROUP

単位:百万円

	2015年2月期	2016年2月期	前期末比増減	備考
流動資産	57,981	50,675		
現金及び預金	43,503	35,174		
売掛金	5,603	5,138		
たな卸資産	7,707	9,149		
その他	1,168	1,214		
固定資産	24,041	26,242		
有形固定資産	9,211	10,493		
無形固定資産	201	315		
投資その他の資産	14,629	15,434		
資産合計	82,023	76,918		
流動負債	32,596	27,463		
固定負債	13,110	13,401		
負債合計	45,706	40,865		
純資産合計	36,316	36,053		
負債資本合計	82,023	76,918		

連結キャッシュ・フロー計算書

PAL GROUP

単位:百万円

	2015年2月期	2016年2月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,084	△1,308
投資活動によるキャッシュ・フロー	△543	△3,171
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,297	△3,849
現金及び現金同等物の増加(減少)額	11,245	△8,328
現金及び現金同等物の期首残高	32,258	43,503
現金及び現金同等物の期末残高	43,503	35,174

単位:百万円

1. 連結

	2016年2月期	2017年上期	2017年下期	2017年2月期	前期比
売上高	114,410	58,650	62,840	121,490	6.2%
売上総利益	62,852	33,162	35,556	68,718	9.3%
販売管理費	57,024	29,430	31,348	60,778	6.6%
営業利益	5,828	3,730	4,210	7,940	36.2%
経常利益	5,741	3,590	4,060	7,650	33.3%
特別損益	816	310	320	630	△22.8%
当期純利益	3,288	2,030	2,390	4,420	34.5%
	粗利 54.9%		粗利 56.6%		

2. 単体

	2016年2月期	2017年上期	2017年下期	2017年2月期	前期比
売上高	95,315	48,700	52,360	101,060	6.0%
売上総利益	53,084	27,857	29,948	57,805	8.9%
販売管理費	46,947	24,203	26,022	50,225	7.0%
営業利益	6,137	3,654	3,926	7,580	23.5%
経常利益	6,077	3,530	3,810	7,340	20.8%
特別損益	652	250	250	500	△23.3%
当期純利益	3,342	2,100	2,280	4,380	31.1%
	粗利 55.7%		粗利 57.2%		

- 生産プラットフォーム化の推進の効果と、円高による値入れ率の改善により、大幅増益を見込む。

1. 店舗数の状況

()内、期初時点の想定数

	2014年2月期	2015年2月期	2016年2月期	2017年2月期
パル、新規店舗増加数	87 (54)	105	103 (75)	(41)
子会社での新規店舗増加数	34 (8)	16	24 (5)	(9)
退店店舗数 (連結合計)	50 (6)	52	61 (30)	(30)
店舗数純増	71 (56)	69	66 (50)	(20)
会計年度末の店舗数	764 (749)	833	899 (888)	(919)

2. 既存店売上の状況 (ナイスクラブが上場廃止になる予定で、パルで一本化へ)

	2016年2月期	2017年2月期
既存店売上推移	96.9	100.0

3. 客数、客単価の推移

	客単価前年度比	客数前年度比
衣料事業	101.8%	95.2%
雑貨事業	99.2%	96.8%
全体	100.3%	96.5%

SMILE
IS
POWER.

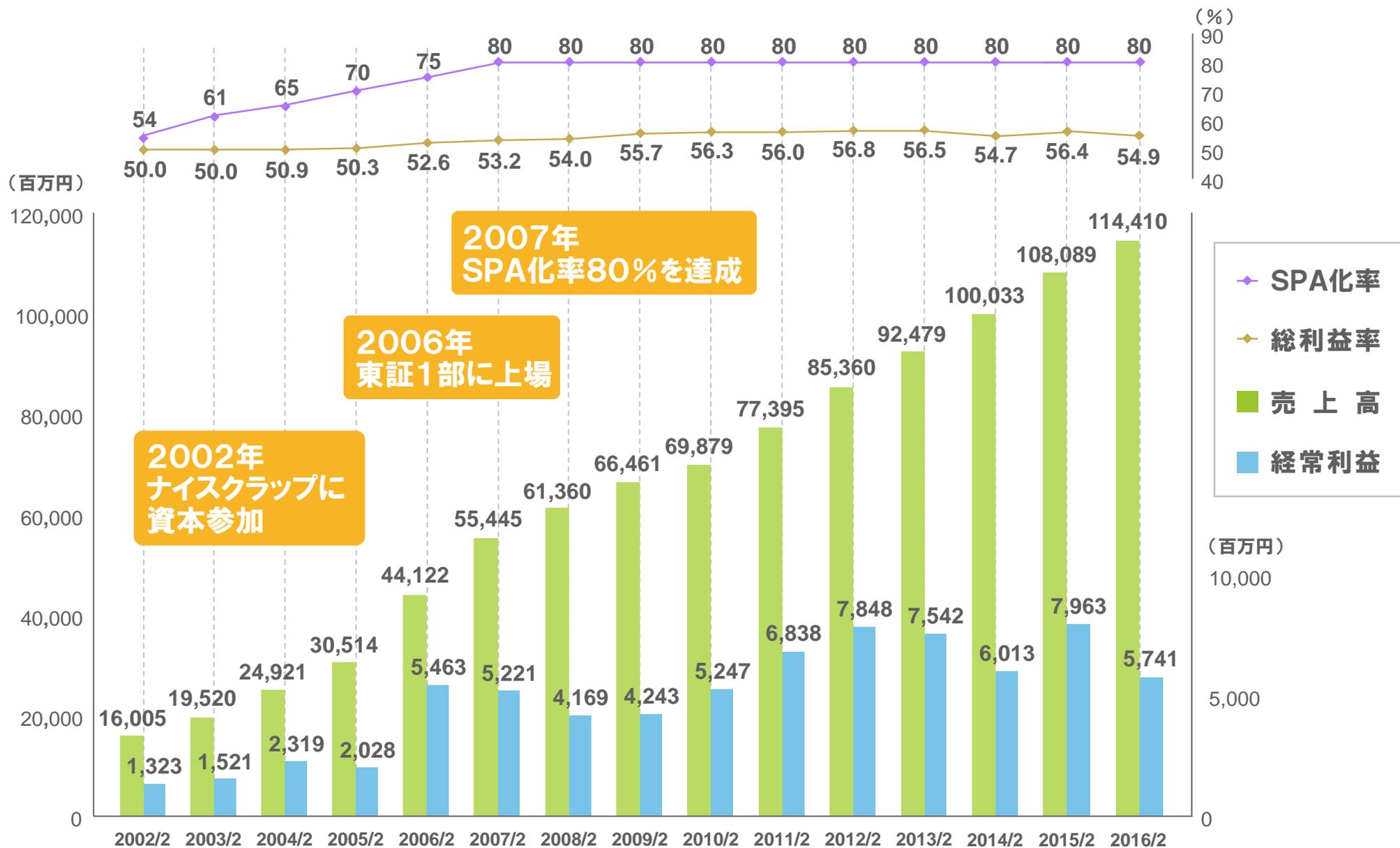
PAL GROUP

経営ビジョン

業績推移
中長期ビジョン
株主還元策

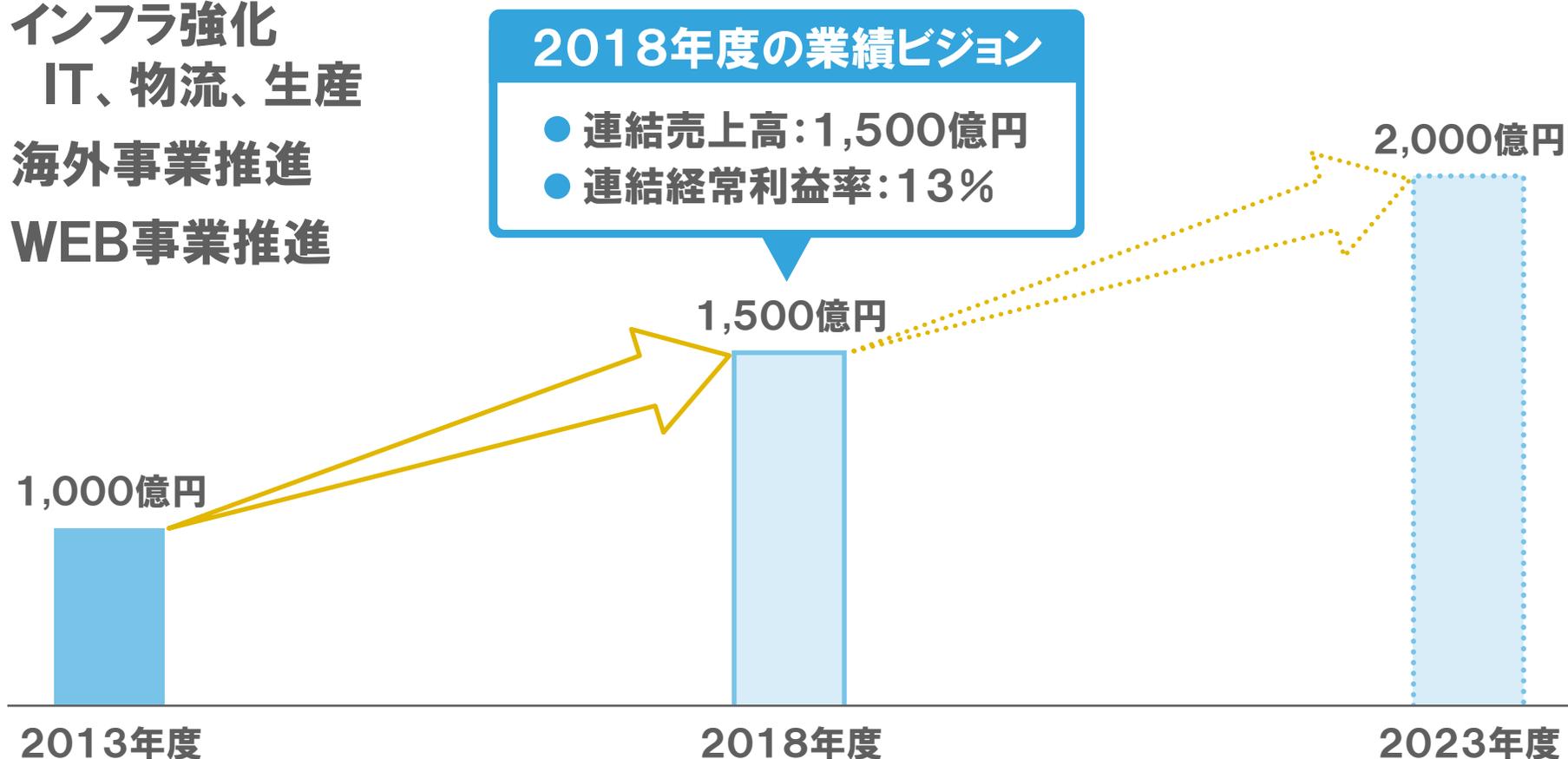


業績推移

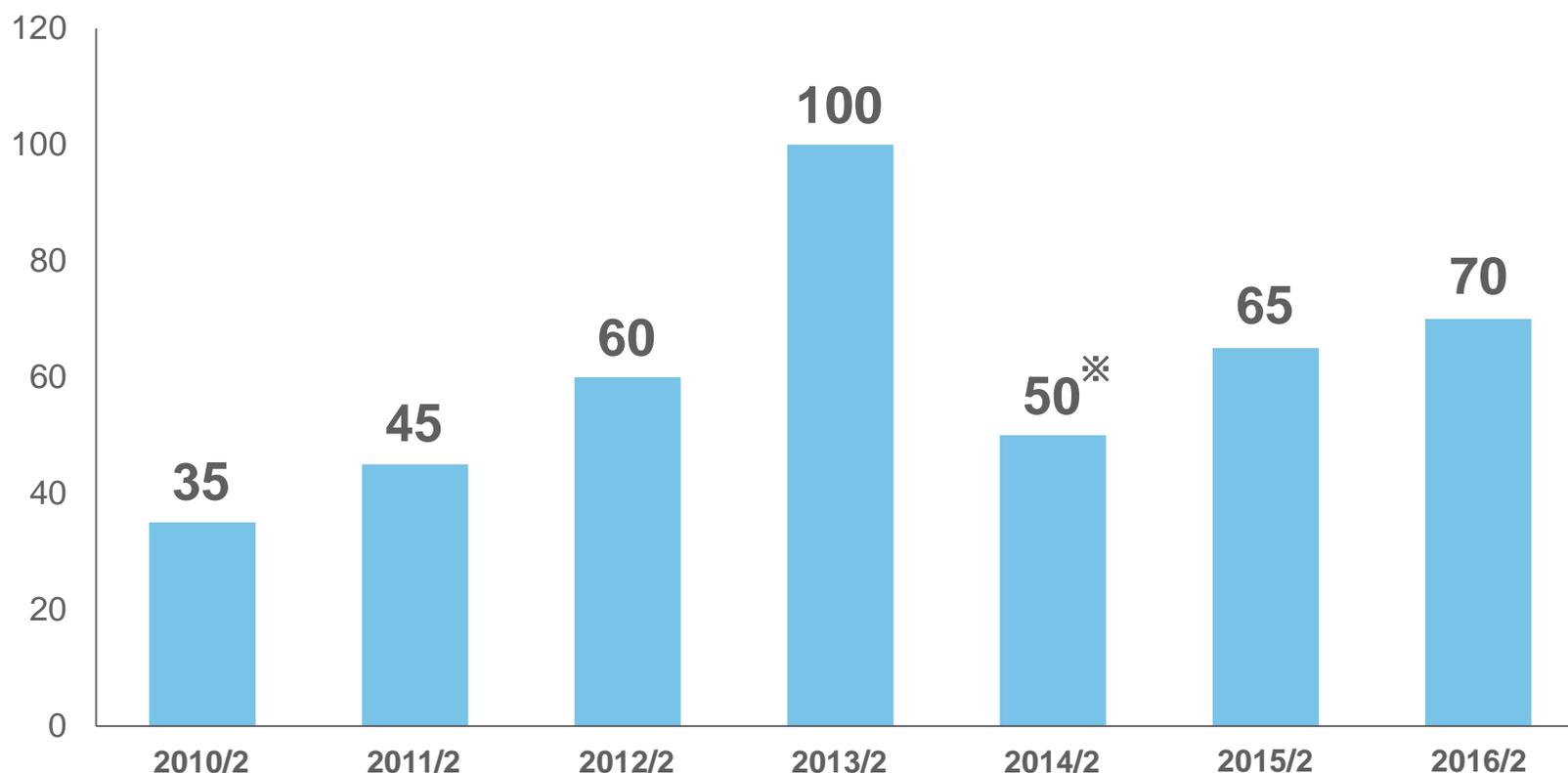


事業戦略

- 『パル流』経営のグループ会社への一層の浸透・持株会社体制へ移行
- 新規ブランドの創設（社内提案、社外コラボ、M&Aなど）
- インフラ強化
IT、物流、生産
- 海外事業推進
- WEB事業推進



- 安定配当を継続することを利益還元の基本方針とする
- 当期末の1株当たりの配当は、70円に増配する



(※2013年3月1日を効力発生日として、1株を2株にする分割を実施済み)

SMILE
IS
POWER.

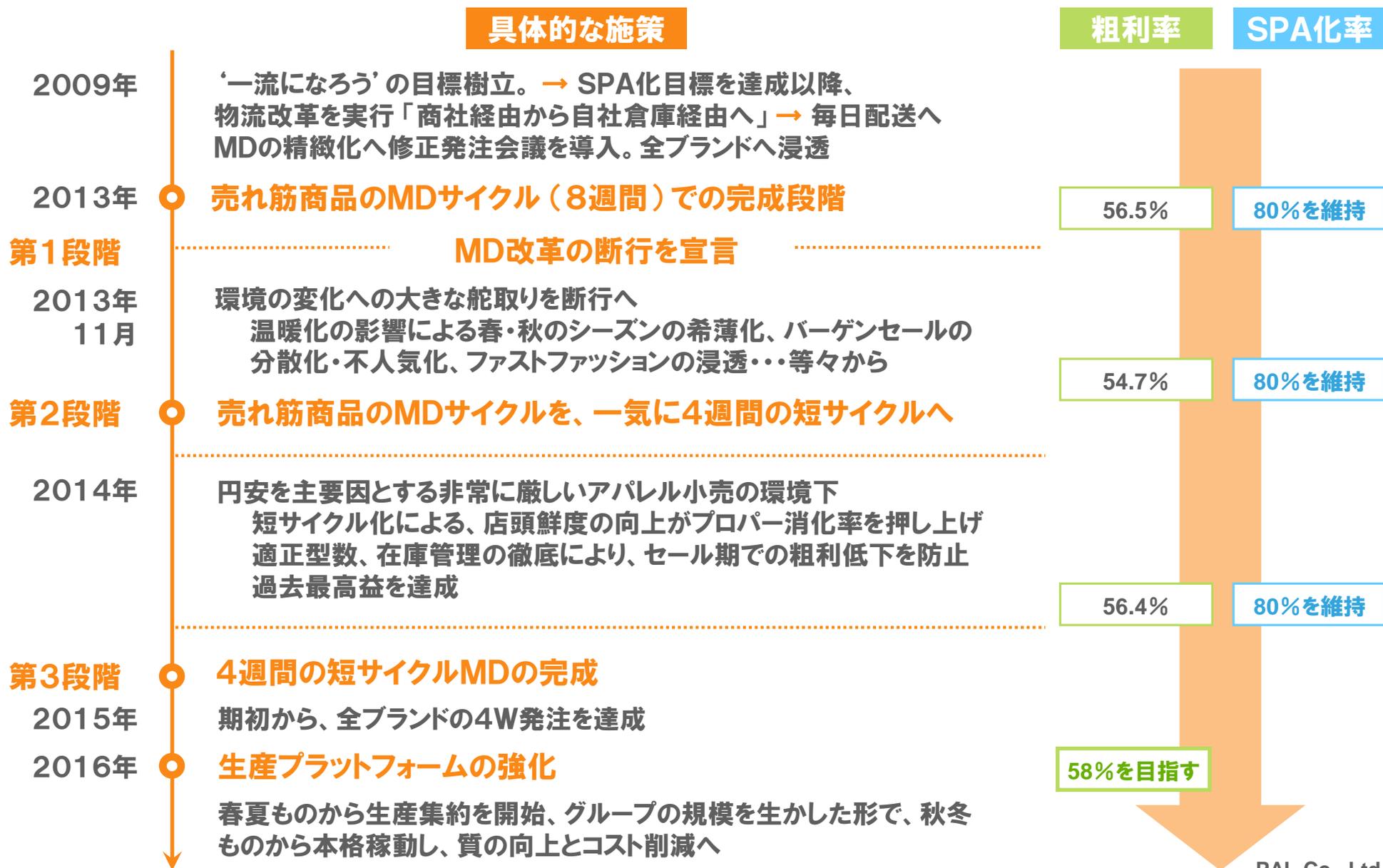
PAL GROUP

トピックス

1. MD改革の進捗について
2. 持株会社体制への移行(1)(2)
3. 中国現地法人の設立
4. ASOKO事業の譲受け
5. 当社のCSRへの取り組み



1. MD改革の進捗状況



2. 持株会社体制への移行について（1）

- 当社は、平成28年9月1日（予定）を効力発生日として会社分割の方式により**持株会社体制へ移行**することを決議いたしました。

また、当社は、平成28年9月1日付で「**株式会社パルグループホールディングス**」に商号を変更し、引き続き持株会社として上場を維持する予定です。なお、かかる会社分割による持株会社体制への移行及び商号変更につきましては、平成28年5月下旬に開催予定の当社定時株主総会決議による承認及び必要に応じ所管官公庁の許認可が得られることを条件に実施いたします。

会社分割の日程

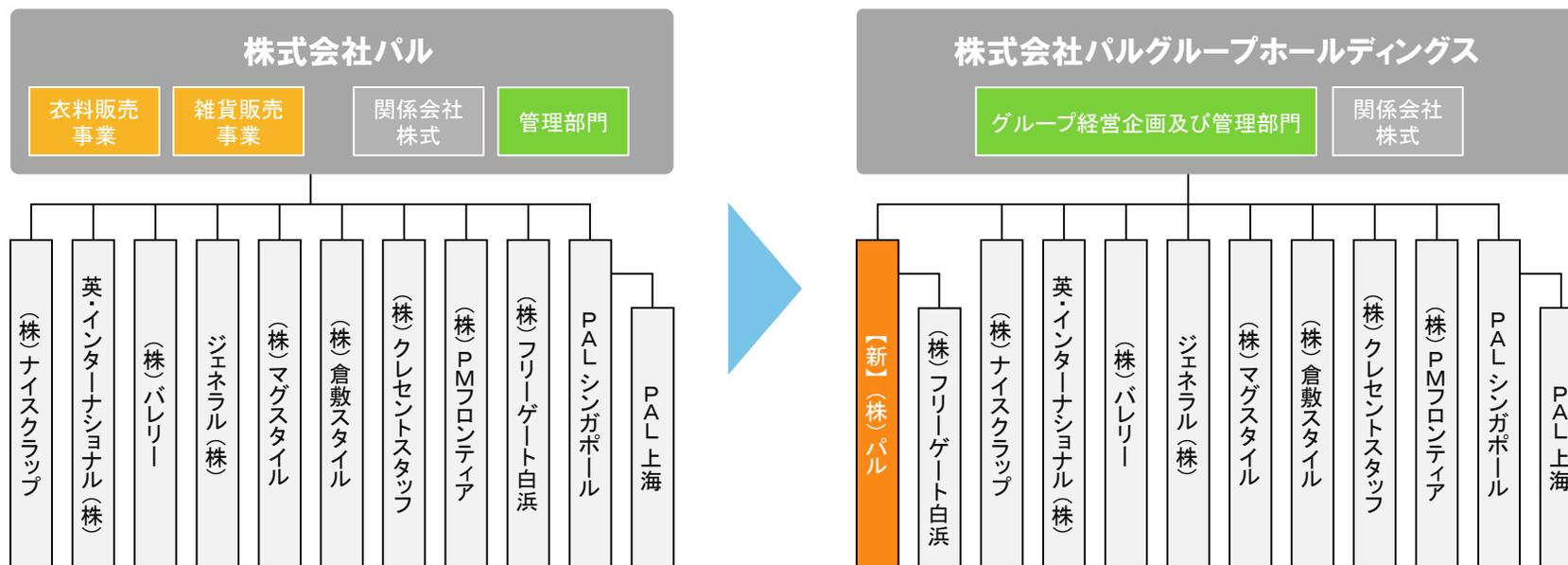
分割準備会社設立承認取締役会	平成28年3月29日
分割準備会社の設立	平成28年4月 1日
吸収分割契約承認取締役会	平成28年4月12日
吸収分割契約締結	平成28年4月12日
吸収分割契約承認定時株主総会	平成28年5月25日
吸収分割の効力発生	平成28年9月 1日

2. 持株会社体制への移行について（2）

持株会社体制への移行目的・背景

昨今のわが国経済は、政府の景気対策等により緩やかな回復基調が続きましたが、個人消費は、依然弱含みの状況が続いています。また、我々のアパレル業界を取り巻く環境は、地球温暖化の影響による季節感の喪失、夏・冬のセール期間での販売不振、主力購買層の若者から大人への移行などに加え、中国をはじめとするアジア各国での人件費の高騰や急激な円安による影響から、製造コストの大幅アップに直面するなど、非常に厳しい課題を、次々と突きつけられている状態です。

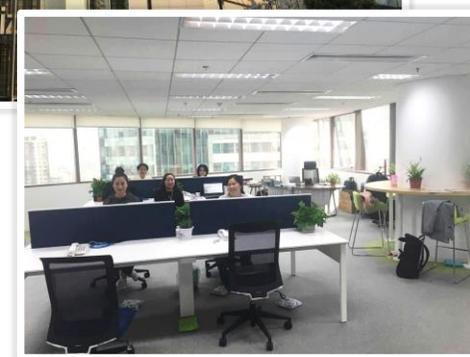
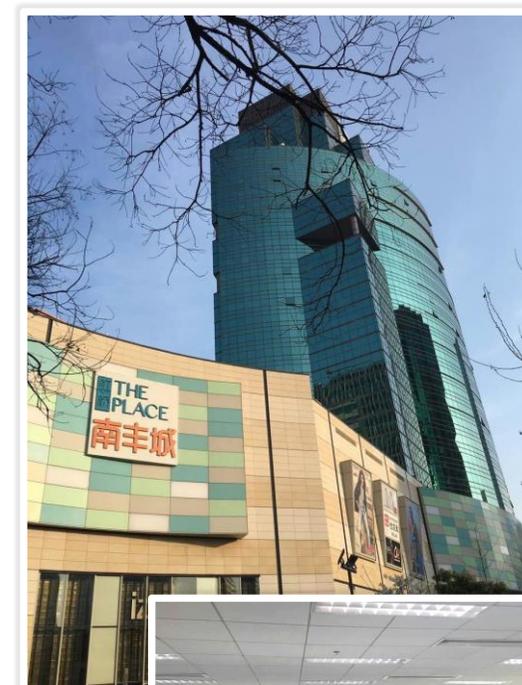
このような状況下において、当社は更なる成長のため、より一層の経営のスピード化を図り、機動的かつ柔軟な経営判断を可能にするグループ運営体制を構築することが望ましいと判断し、持株会社体制へ移行する方針を決定いたしました。また、各事業会社の経営を有為な人材に担わせることにより、次世代の経営人材を育成するとともに、グループの企業価値をさらに向上させるため、M&Aも含めて、新たな成長分野に対して積極的にグループ経営資源の配分を行ってまいります。



3. 中国現地法人の設立について

パル（上海）商貿有限公司の概要

商号	帕璐（上海）商貿有限公司
（英文）	PAL（Shanghai）Trading Co., Ltd.
代表者	井上隆太
所在地	中華人民共和国 上海市
設立	平成28年1月5日
資本金	1,800,000人民元（約35百万円）
今後の事業計画	設立後は、パルあて商品供給業務の運営を開始。新規出店候補の発掘、決定を経て小売業への進出、FC展開を予定。



4. 『ASOKO』事業の譲受けについて

『ASOKO事業』の概要

日鉄住金物産の100%子会社である
遊心クリエイションより、
雑貨業態の『ASOKO』事業を2月1日で譲受け。



店 舗	3店（原宿店、大阪・南堀江店、神戸・ウミエ店）
従 業 員	正社員・アルバイト含め、約50名
目 的	当社にはない独自性を持ち、規模は小さいが、注目していたもの。
シナジー	『ASOKO』には、商品を生み出す能力が高いため、ブランドイメージはそのままにし、スリーコインズの強みであるMD力を活かし、リピーターの多いビジネスモデルへ、改革していきたい。

5. 当社のCSRへの取組みについて

(1) 当社の経営理念は、『社員と株主みんなの幸せのための経営』

当社にとってのCSR(Corporate Social Responsibility=企業の社会的責任)とは、継続的に利益を上げ、税金を払い、雇用を継続するという企業の存在意義に関わるところを超えて、企業として『少しでも世の為、人の為になっているか』という社会貢献、地域貢献に関わることと考えています。

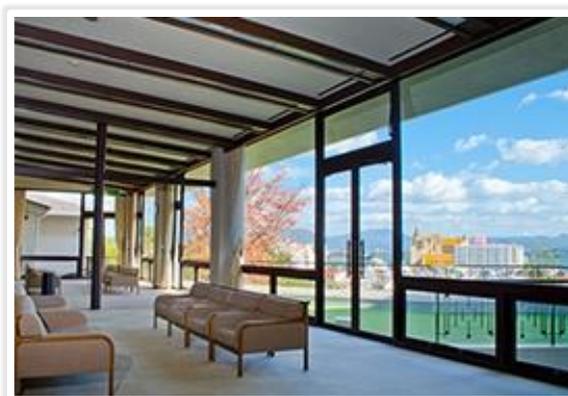


5. 当社のCSRへの取組みについて

(2) 『障がい者の運営する』 全国初のホテル、旅館を全面支援

当社は、2011年6月より、障害者雇用を目的としたホテル『フリーゲート白浜』を運営してきましたが、近隣の宿泊施設を買収し、料理旅館『浜木綿くろしお山荘』として、事業を拡大し、営業を開始しました。

両施設とも、従業員の大半が障害を抱えており、ホテルや旅館業のようなサービス業での雇用は、全国でも珍しいケースとなっていますが、当社での接客ノウハウを伝えながら、障がいのある人が自分たちで考えて、仕事を完結できるようにしています。



浜木綿くろしお山荘

▶ www.hamayu-kuroshio.com

(3) 『大阪大学大学院経済学研究科にパル寄附講座を開設』

当社は、創立40周年の記念行事の一環として、また地域貢献の一助として、大阪大学大学院経済学研究科に、パル寄附講座を開設しています。

「イノベーション・マネジメント」寄附講座という名称で、同大学の学生が、専門性の追求のみならず、実社会の最前線で活躍される講師の方々から、ドキドキするような講話を聴く機会を得ることで、実学の基礎を学べるように配慮し、今後の社会をリード出来る人材育成に向けた交流を進めていく方針です。



講義写真(会長)



講義写真(社長)



講義ポスター

(4) 『公益財団法人パル井上財団』での人材育成

当社は、社会貢献の一環として、創業一族である井上ファミリーと共に、『一般財団法人パル井上財団』を設立し、一昨年の4月より、公益財団として内閣府より認可を受けました。

将来、ファッション産業や関連する分野に貢献しうる有用な人材を育成したいという趣旨から、学業・人物共に優秀で、経済的理由により修学が困難な学生に対し、奨学金を給付することを目的としています。

40名を超える、全国の総合大学及び、服飾系の大学・専門学校の学生（留学生を含む）に、奨学金を給付していく事業を、開始致しました。

『公益財団法人パル井上財団』
Webサイト

トップページ



パル財団とは

社 是

「常に新しいファッションライフの
提案を通して社会に貢献」

グループ 経営理念

「社員と株主みんなの
幸せのための経営」

社 名

株式会社 パル

所 在 地

【本社所在地】 大阪府大阪市中央区北浜3-5-29 日生淀屋橋ビル4F
【東京本社】 東京都渋谷区神宮前6丁目12-22 秋田ビル4F

代 表 者

井上 隆太

資 本 金

31億8,120万円

設 立

1973年10月

事業内容

婦人服・紳士服・雑貨等の企画・製造及び卸・小売

従業員数

2,222名（グループ合計2,842名）

店 舗 数

899店舗

2016年2月末現在

経営企画室

TEL 06-6227-0308
FAX 06-6231-1056

本資料に記載されている、計画、戦略、予想などのうち、歴史的事実でない情報は将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは異なる結果となる可能性があることをご了承ください。

また、本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定はご自身のご判断において行われるようお願いいたします。